

第22回東日本支部会の報告

支部長 玉元弘次（1期生）

平成24年6月24日（日）に東日本支部同窓会が例年同様「ミヤリサン」にて開催されました。

今年は琉球大学医学部医学科同窓会本部より副会長の田名毅先生（4期生）が昨年に引き続きお見えになりました。

今年は「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」について講演していただきました。このセンターは沖縄県、沖縄県医師会、琉球大学が立ち上げたプロジェクトです。沖縄県下のすべての医療系学生および医療者を対象としたシミュレーション教育のプログラム開発・実践・研究を行い、シミュレーション教育の普及をめざすとのことでした。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://okinawa-clinical-sim.org>
講演のあとの懇親会では国試の合格率、卒後進路などもご報告

がありました。

今年は恩師の先生方のご都合が悪く何方も参加されませんでした。しかし、故小張一峰先生を長年支えてくださった元秘書の古川さんがサプライズでお見えになりました。写真を載せておきます。同窓生は15名の参加でした。参加人数はまだまだ少ないですが意見交換などの交流の場としては貴重な会となっております。今後の会のあり方も話題に上りました。本部と密に連携し同窓の先生方に参加しやすい会にしていきたいと考えます。



第3回 琉球大学医学部同窓会長崎支部会よりご挨拶

支部長 古賀浩孝（1期生）

琉球大学医学部卒業生および在学生、また、お世話になった教授初め関係各位の皆様、こんにちは、いかがお過ごしでしょうか。

長崎県は意外と琉球大学とは縁が深く、本来ならばもう少し早くに、同窓会の立ち上げがあるべきでしたが、なんとか、平成22年に第一回の同窓会を開くことができました。第一回は、私にとっては25年ぶり前後に皆さんと再会にある訳ですが、皆さん容姿、体型も変わり、若い人から、お世話になった先生方まで、共通の話題まで手探りの状態でありました。

今年は、9月8日に、3回目の同窓会が開かれました。約14~15名（+α）の方々に参加いただき、また、気軽な居酒屋だったこともあり、大いに盛り上がり、予定時間はすぎるわ、泡盛の一升瓶が何本も出るわで、皆さんとても素敵に会食、会話されました。幹事の一人としては大変有意義で、時間の溝も年ごとに埋まってゆく、そんな気がしています。

長崎県支部には、名簿上30名以上の方々がいらっしやり、年を追うごとに結束を深め、何でも話し合える会にできたらいいなあ～、なんて思ってます。

最後に、何もしない、私に代わり、尽力していただいた、土屋知洋先生（1期生）、山城哲先生（2期生）に感謝いたします。

長崎はよいところです、最近、世界の三大夜景に選ばれました～。一度遊びにきてください～。まっとうけんね!

